

こどもが まんなか

# いわてのWAっこ



いわて幼児教育センター通信  
No.4 令和4年12月28日発行

発行・編集

岩手県教育委員会事務局学校教育室  
(いわて幼児教育センター)

本通信は岩手県 HP からダウンロード  
できます

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/1006358/1058868.html>

## きらきら☆いわてっこ

今回は「環境の構成」と「教材研究」について考えてみましょう。

乳幼児期の教育・保育は、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されているように、「環境を通して行う教育」が基本です。「環境」とは物的環境・人的環境・事象等、乳幼児期の子どもの身の周りにある全てを指します。単に園児の身の周りに環境があるということではなく、子どもが主体的に環境に関わり、そこで得られる直接的・具体的な体験を通して、一人一人の発達を促す「意味のある環境」のことなのです。



すり鉢を使って草花や木の実の汁を取り出してきれいな色水を作りました。



透明なカップに色水を入れると、微かな色の違いもよくわかります。色の違いから様々な味のジュースのイメージがわき、ごっこ遊びがより楽しくなります。

季節ごとに、遊びに使える草花等があることは大事な環境です。

また、そのような自然物を加工して遊ぶことができるような道具（すり鉢、おろし金、泡立て器等）があることで、より遊びが豊かになっていきます。

収穫物を展示することも、季節を感じたり、体験を振り返ったりすることを促す環境となります。

また、収穫物を数えたり、量ったりすることで、数量に関心をもつきっかけにもなります。



収穫したサツマイモと一緒に図鑑やはかりを置いて、実際に触れて遊べる展示にしています。

「教材」とは小学校などで学習に用いる教科書やワークシートのようなものを指しているわけではありません。また、園で学級皆での製作遊びなどの際に、担任が一人一人に配って渡すような材料のみを指しているものでもありません。園児の周りに存在する様々な人や物、生き物、自然事象、社会事象、歌や絵本などを含め、園児が関わる全てのものが、「教材」として価値をもつものとなる可能性があります。

### 🌸 専門員訪問支援で見つけた手作り遊具

訪問先では、子どもたちが主体的に関わり遊び込んでいる環境や教材に出会います。今回は未満児の室内で見つけた遊具を紹介します。



牛乳パックに新聞紙を詰めて作った積み木。重いので安定感があります。



製氷皿の底に塗られた色と同じ色のミニポンポンを入れて遊びます。つまんで入れる、色を認識する等、様々な感覚を刺激します。



小さい牛乳パックで作ったバス。前と後ろに磁石が入っていて、くっついたり動いたりします。

縛ったタオルや、キャップやストロー等を貼り付けたジョイントマットを床に並べて、その上を歩きます。足裏の感覚を刺激します。



## ★岩手県幼児教育フォーラムを開催しました

令和4年12月16日（金）岩手県民会館 中ホールにて、「岩手県幼児教育フォーラム」を開催しました。このフォーラムは、「就学前教育の質の向上に向けた取組を共有し、就学前教育を語り合うことにより、就学前教育推進の機運を醸成すること」を目的としています。

内容は、学習院大学教授の秋田 喜代美 氏によるオンラインでの基調講演「幼保小の架け橋プログラムの目指すもの」、続いて、テーマ「資質・能力の育成～探究する子どもの姿から～」に基づいた、聖パウロ幼稚園 坂水 かよ 園長、岩手県立大船渡高等学校 本正 園子 副校長による実践発表と、会場内の参加者による意見交流を行い、その後、高校魅力化プロデューサー 菅野 祐太 氏からご講評いただきました。幼児の学びの姿と高校生の学びの姿に共通するもの、資質・能力を育むために子どもに関わる大人がどうあればよいか等、校種を越えて語り合い、考え合うことができ、学びの多いフォーラムとなりました。当日は保育関係者のみならず他校種の先生方にもご参加いただきました。また遠くは九州からもお越しいただき、100名を超える皆様と有意義な時間を共有することができました。

### ◀フォーラム後のアンケートから▶

- ・高校生の事例を知り、共通することを感じた。0歳から18歳まで学びはつながっていて、学びを支える私たちの子ども理解や、やるべきことは同じだと思った。（保育所）
- ・架け橋期の2年間のみならず、その前後の時期のつながりも意識しなければならないことを学んだ。（小学校）
- ・教え過ぎず、環境を整えて、伴走者として温かく見守っていくことが大切だと感じた。（行政）



県内各地の園の先生方、そしてその先にいる子どもたちのウェルビーイング(幸福)をめざしていきます。